

白野市立南平体育館建替工事設計業務委託 | 基本設計図書 | 概要版



目次

・外観パース

- 01. 目指すべき姿
- 02. 報告会（ワークショップまとめ）
- 03. 敷地の位置・立地条件
- 04. 環境配慮設備の導入
- 05. 市民スポーツ施設としてのあり方
- 06. イベント利用イメージ図
- 07. 災害時使用イメージ図
- 08. 配置・外構計画
- 09. 敷地・建築概要
- 10. アリーナ計画
- 11. 多目的ルーム計画
- 12. 弓道場計画
- 13. バリアフリー計画図
- 14. 工程表
- 15. 概算工事費
- 16. 建物保全計画
- 17. 配置図
- 18. 1階平面図
- 19. 2階平面図
- 20. R階平面図
- 21. 立面図-1
- 22. 立面図-2
- 23. 断面図



新体育館の基本理念と基本方針

～基本理念～

「スポーツと健康」「交流」「防災」の3点を求められる基本的な機能と捉え、「基本計画策定業務」「基本設計業務」および「ワークショップ」を通して議論を重ね、新体育館の基本理念を次のように決めました。

街に活気と潤いを生み出す「まちなかアリーナ」

～目指すべき姿～

基本理念の具体的な基本方針“目指すべき姿”として下記の5つを掲げ、その実現に向けた施設コンセプトを各々に設定しています。

1 スポーツ以外も楽しめる “フラッと立ち寄れる施設”

▶ “地域住民のふれあいの場”で親しみある地域の寄合場をつくります

- ・カフェ、キッズスペースをエントランスに設置し、活気あふれる施設の顔をつくります。
- ・弓道場を利用していない時には、フリースペースとして開放しラウンジと一体で市民のふれあいスペースとなります。

2 新たな人、コト、スポーツに出会える “つながりの場”

▶ 光溢れる吹抜空間で活気ある“出会いの場”をつくります

- ・吹き抜けを介して、施設全体の活動が見えることで、新たな人・コト・スポーツの出会いの場となります。
- ・室内のスポーツや市民のふれあいの活気ある様子が、各所に設けたガラス開口から溢れ出します。

お祭と人々の活動があふれ出す“市民のコミュニティアリーナ”

3 子供から高齢者、子育てママ、障害者まで “すべての人が使いやすい施設”

▶ みんなの“目が行き届く安心”の施設とします

- ・事務室からの死角が極力少ない空間構成とすることで、管理者の目が行き届く安全な施設とします。
- ・見通しのきく明快な空間構成とすることで、利用者が使いやすい施設とします。

駐車場から各諸室まで、段差のない“バリアフリー”を徹底します

4 “南平の特徴を活かした施設”

▶ “水と緑のプロムナード”が南平の豊かな自然をつなぎます

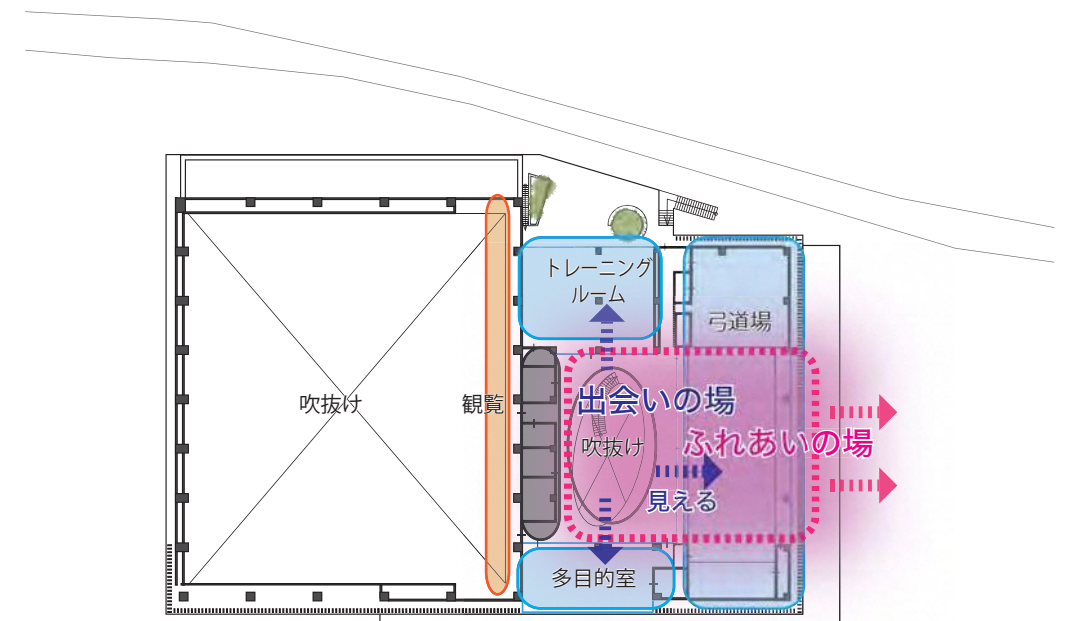
- ・敷地北側の「緑のプロムナード」が、南平小学校まで繋がる心地良いアプローチ空間をつくります。
- ・敷地南側の「水のプロムナード」が、南平用水・南平公園と一体で親水空間をつくります。
- ・「多摩丘陵」を借景にした明るくフレッシュなスポーツ空間をつくります。

南平の自然エネルギーを活用した“エコアリーナ”

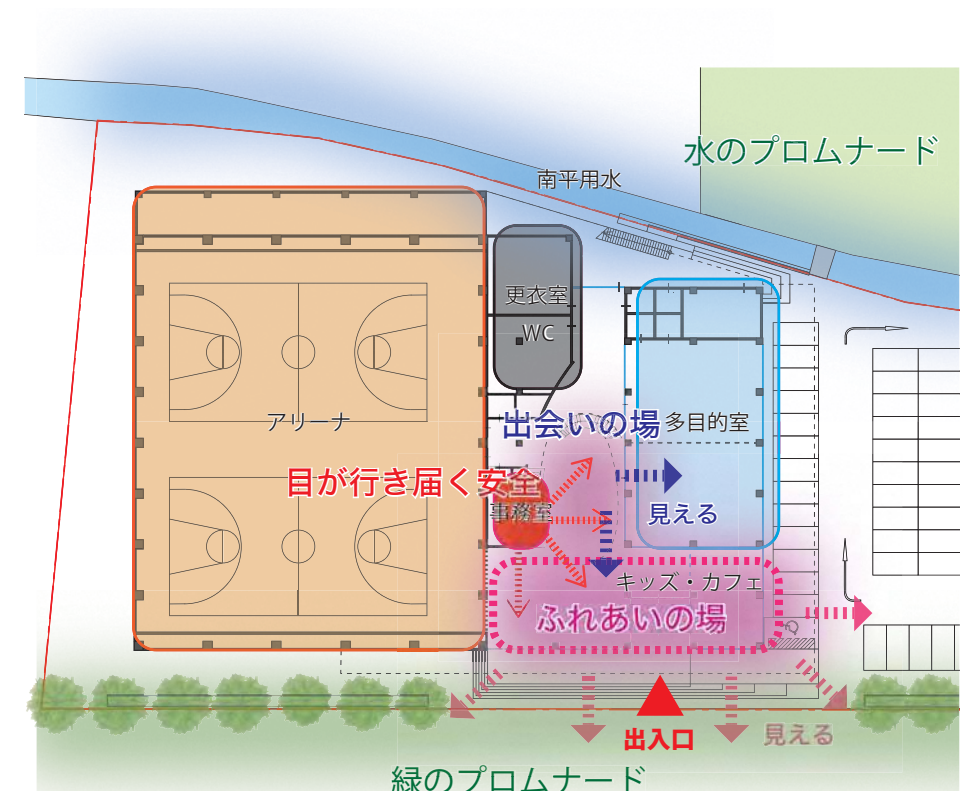
5 “浅川南の防災拠点”

▶ 災害時人々を優しく受け入れ守る“市民のセーフティハウス”

- ・1階床レベルを調整することで、浅川の浸水に対応します。
- ・地震発生時は、地域の防災拠点として機能します。



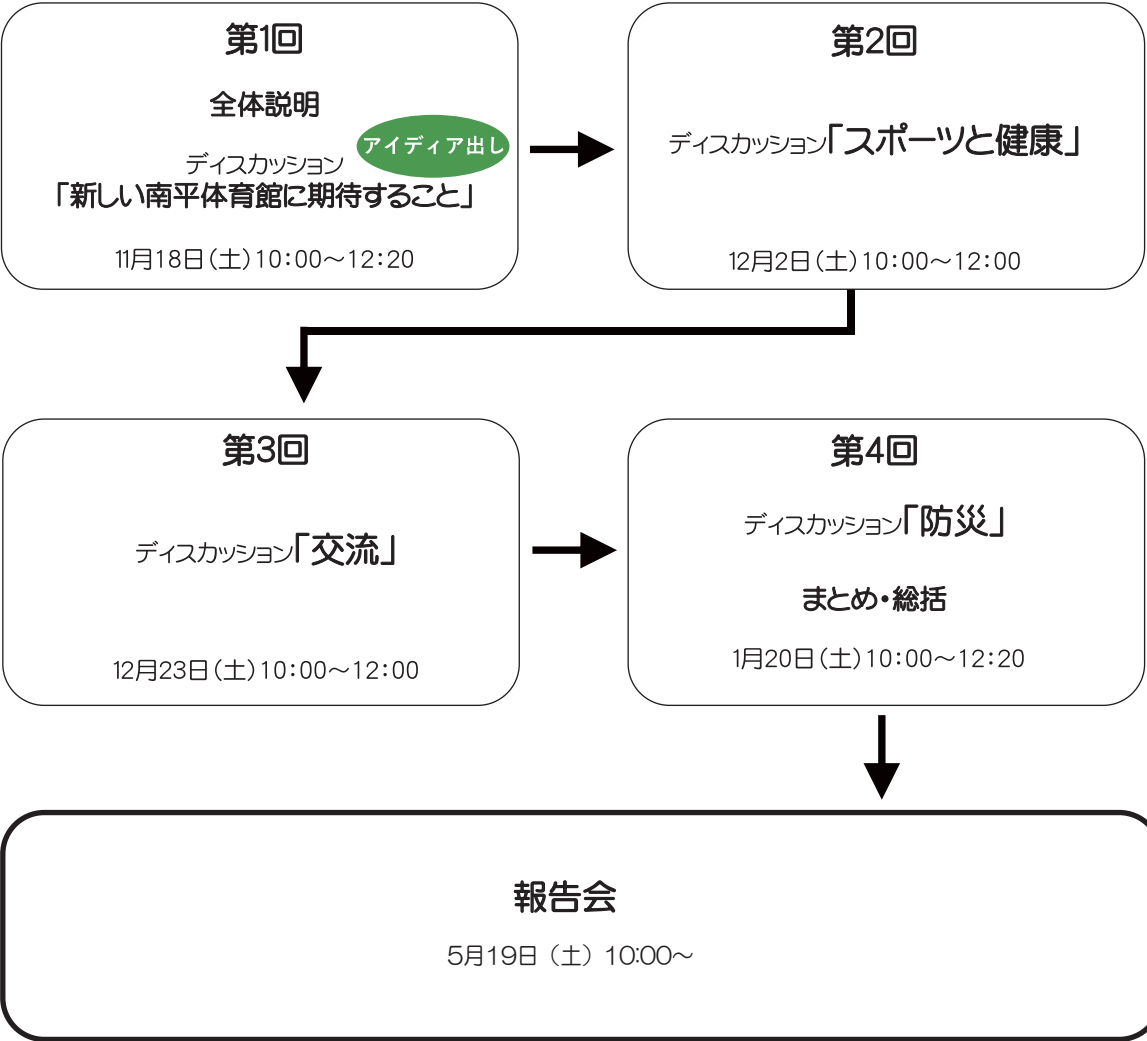
建物ゾーニング 2F



建物ゾーニング 1F



「まちなかアリーナ」 ワークショップ



グループディスカッション



グループ発表



アイデアシート

■ワークショップで出た主な意見

ソフト		
プログラムの充実 ・ヨガ、ダンス教室 ・心の健康貯筋体操 ・料理教室 ・体験教室 ・救命講習(AEDなど) ・健康講座 ・親子イベント ・昔ながらの遊び教室 ・パブリックビューイング ・プロスポーツの試合 ・ミニコンサート ・アリーナを個人利用できる日	サービスの充実 ・無料ネットサービス(Free WIFI) ・体育館利用状況の表示 ・使いやすい登録、予約システム(チケット制など) ・利用料(ワンコイン) ・利用時間(夜遅くまで) ・年齢別の利用ルール ・レンタル用具の充実 ・自転車のレンタル ・BBQ機材のレンタル ・ペット同伴可 ・上級救命技能認定を持つ職員 ・子供の見守り ・駐車場の無料化 - 建物名称の変更(南平アリーナ)	地域イベントの開催 ・市民フェア ・BON祭り ・BOW祭(炊き出し) ・運動会 ・春/花見 夏/納涼祭 秋/盆踊り ・カレー祭り ・日野産農作物の朝市・夕市
他施設との連携 ・散策ルート ・ランニングコース ・自治会 ・ケーブルテレビでの宣伝(市民の認識を高める活動)	アクセスのしやすさ ・バス経路の新設 ・乗り捨て自転車システム	防災 ・浅川南の防災拠点 ・福祉避難所として機能 ・要支援者へのサポート体制 ・避難訓練、セミナーの実施(イベントと合わせて楽しく学ぶ) ・防災資料の展示(防災マップ等) ・障害、病気の人が判別できる仕組み ・要介護者のプライベートスペース ・日常からの連携体制確立

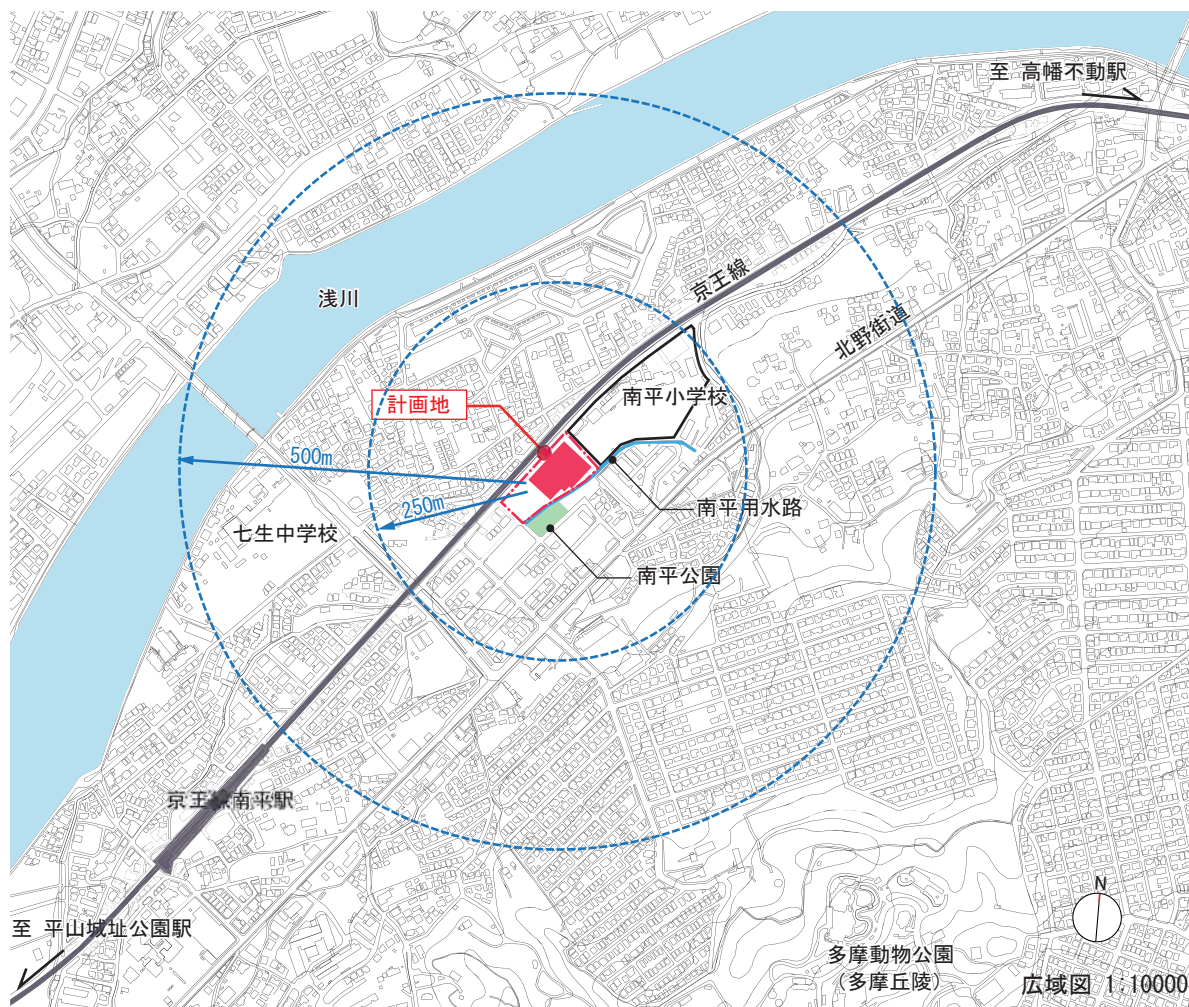
ハード		
アリーナ ・移動式バスケットゴール ・ランニングコース ・観覧スペース ・舞台(可動式) ・ハンドロウルコース ・防球ネット、セパレーターネットは出来るだけ少なく ・控室(アリーナ脇) ・インフラのバックアップ(非常用発電、浅川・井戸水の活用等) ・水害対策:1F床レベルの設定	多目的ルーム ・キッチン ・パブリックビューイング機器(スクリーン+プロジェクター+音響+暗幕) ・テレビ ・ストレッチスペース ・内外で見通せるガラス壁 ・健康測定器具(骨密度、筋力、血圧、体脂肪等) ・弓道場の有効活用(射場~的場) ・会議室(30~100人) ・スタジオ(音楽室)	バックスペース ・喫煙所 ・パウダールーム ・おむつ交換台(男女便所に) ・医務室(保健室、救護室) ・貸シャワー、貸ロッカー ・受入れ人数分の十分な防災備蓄
市民ロビー・市民クラブハウス ・飲食スペース ・視覚障害者に優しい家具 ・デジタルサイネージ ・キッズルーム(幼児も) ・売店、食堂、物販スペース ・ボルダリング ・発表・展示の場 ・昔遊びができる場所 ・囲碁・将棋の出来る場所 ・スポーツが見える場所 ・健康サイン ・下足スペースの充実 ・談話(交流)スペース	外部 ・屋上緑化 ・南平公園水路と連携した外構 ・南平小学校との連携した外構 ・ランニングコース(距離・周辺コースの表示) ・歩道空間 ・ランニング・散策の休憩スペース ・デジタルサイネージ ・イベント用電源 ・野外舞台 ・BBQスペース ・駐車場の充実(台数、大型バス対応) ・底のある駐車場 ・外部光源の確保	バリアフリー ・Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドラインに準じた整備 ・アリーナの障害者スポーツ対応 ・視覚障害者に分かりやすいサイン ・アイドラゴン(字幕、手話放送受信機) ・音声案内 ・エレベーターの車椅子、ベビーカー対応 ・更衣室、便所の車椅子対応 ・段差の分かりやすい階段 ・イベント時の屋内外の一体利用(移動式のスロープなど) ・車椅子駐車場 ・掲示板(文字情報化、音声情報化) ・障害者対応トイレ(音声案内、手摺、介護者同伴可)

- 1 “フラッと立ち寄れる”スポーツ以外にも楽しめる
- 2 新たな人、コト、スポーツに出会える “つながりの場”
- 3 子供から高齢者、子育てママ、障害者まで “すべての人が使いやすい施設”
- 4 “南平の特徴を活かした施設”
- 5 “浅川南の防災拠点”

敷地特性

■敷地の位置・立地条件

計画地である南平体育館は最寄駅の京王線南平駅より約 500m 車通りの多い北野街道から北側に 120m 程の地点に位置しています。

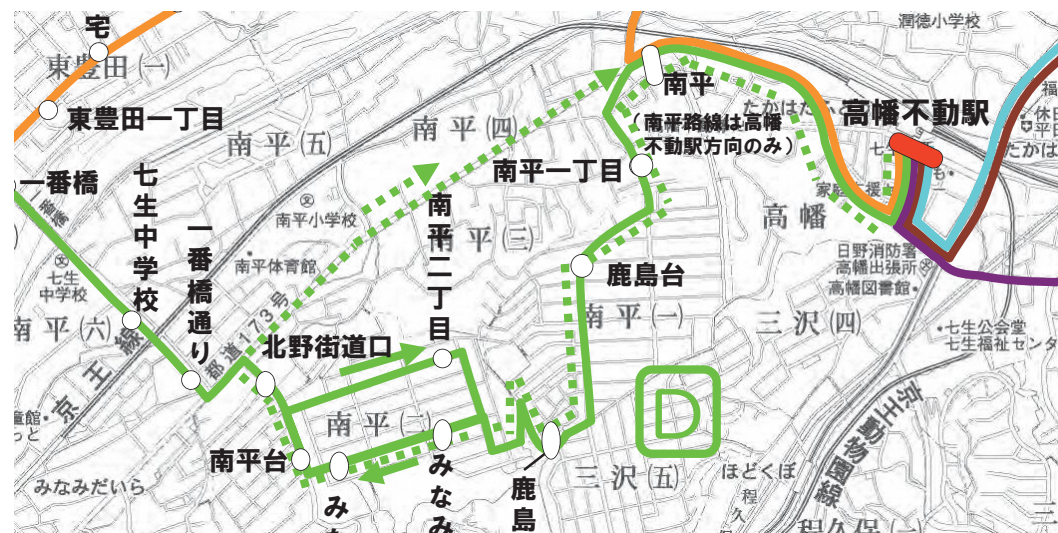


■地域における役割

日野の南部地域は北部地域と比べ、地域の集会所など公共施設が不足しており、本施設においては、その一翼を担うことが求められています。
隣接する公共施設「南平小学校」、「南平公園」との連携も重要な要素です。

■交通状況

最も近い「京王線南平駅」からも徒歩 10 分程度と、公共交通機関の不便さから、現状では、利用者の多くが自動車を利用しています。



■周辺環境

低層の戸建て住宅の中に、畑が点在する住宅地。
南側敷地境界に面して、浅川の支流となる南平用水が流れ、その遠方には多摩丘陵の緑が望める
「水と緑の日野」を体现した環境といえます。



環境配慮

“南平の特徴を活かした施設”
南平の自然エネルギーの活用した“エコアリーナ”

1 井戸水による打ち水

豊かな井戸水を散水に利用し、打ち水効果で外気温度を低下させます。災害時にはマンホールトイレの水源に活用します。

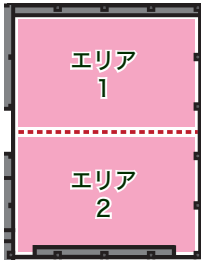


2 共用部の冷房日数を短縮する「自然換気システム」

中央の吹抜けを活用したソーラーチムニー効果で、自然換気を推進します。

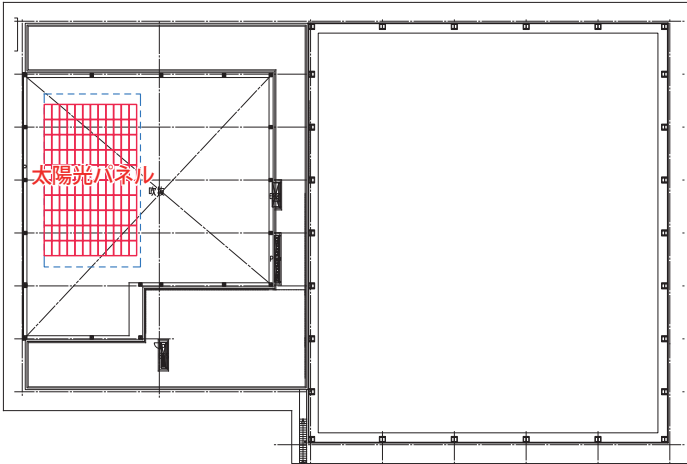
3 使う部分だけ空調「居住域空調」

アリーナは居住域置換換気システムを採用します。大空間を効率的に空調し、微風で競技に影響の少ないシステムです。貸出方法に合せ空調エリアを2つに分けて計画します。一部分のみ使用する際には、必要なエリアだけに必要なだけ空調を行います。



4 太陽光パネル

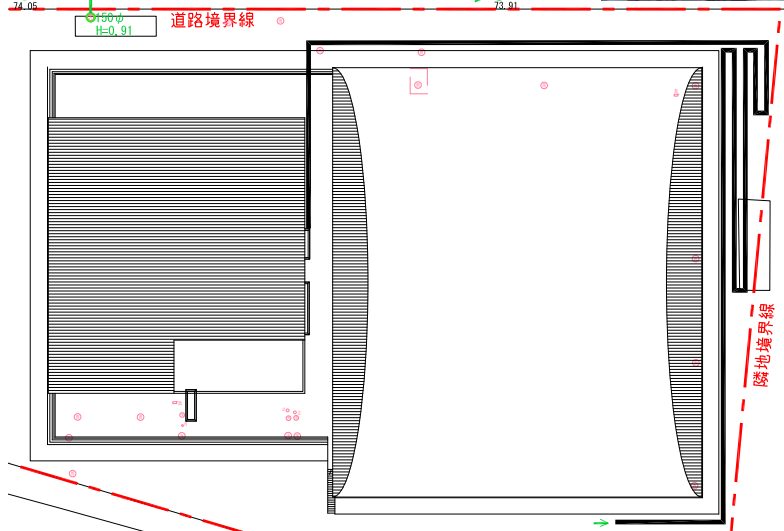
太陽光パネル30kwを設置し、自然光による発電を行います。自然エネルギーの有効活用に加え、Co2削減による環境貢献度が高いシステムです。また、発電量の揭示により、地域住民に対して環境配慮意識の啓蒙に寄与します。



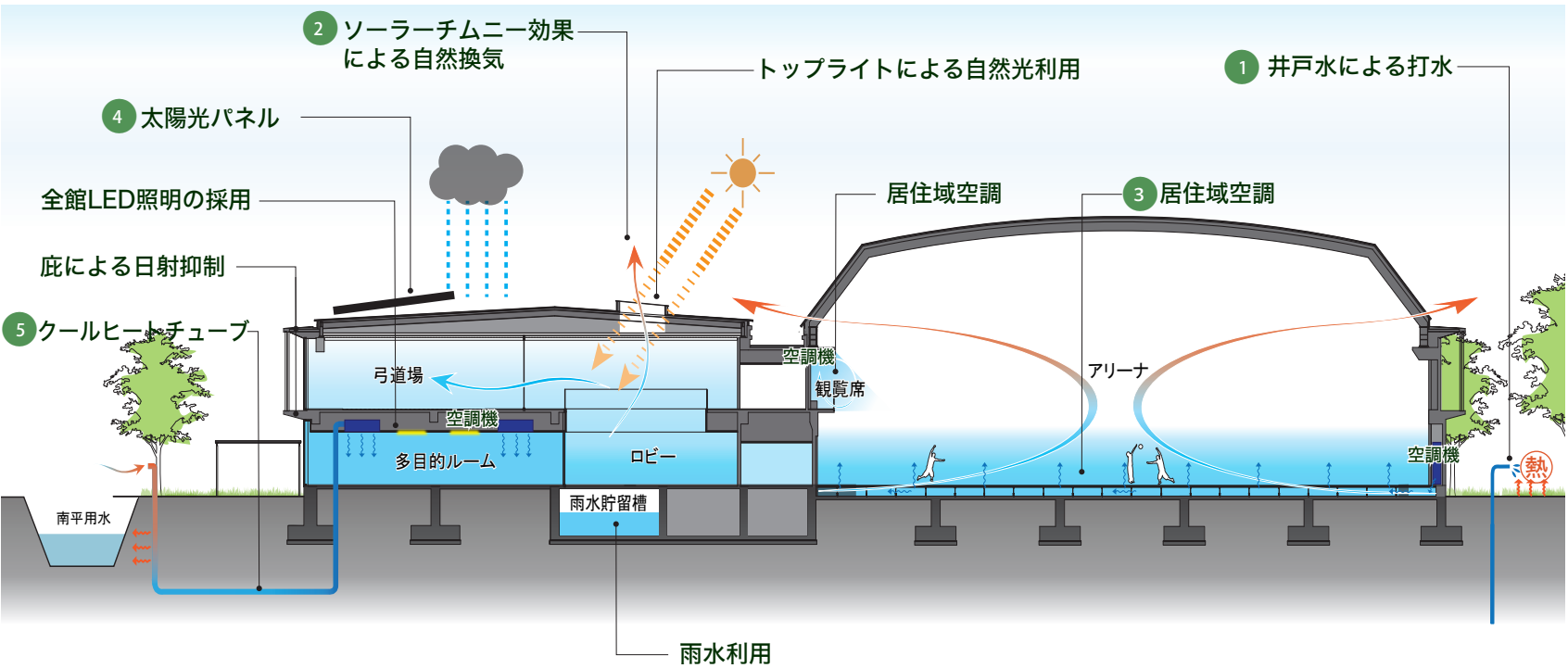
■太陽光パネル敷設範囲

5 南平用水を活かした「クールヒートチューブ」

外気は、南平用水沿いに埋設したクールヒートチューブを通して取り込みます。南平用水により夏は冷やされ、冬は暖められる自然のエネルギーを活かしたシステムで空調負荷を低減します。



■クールヒートチューブ埋設範囲：配管距離100m（ダクト径500φ）



■省エネ項目リスト

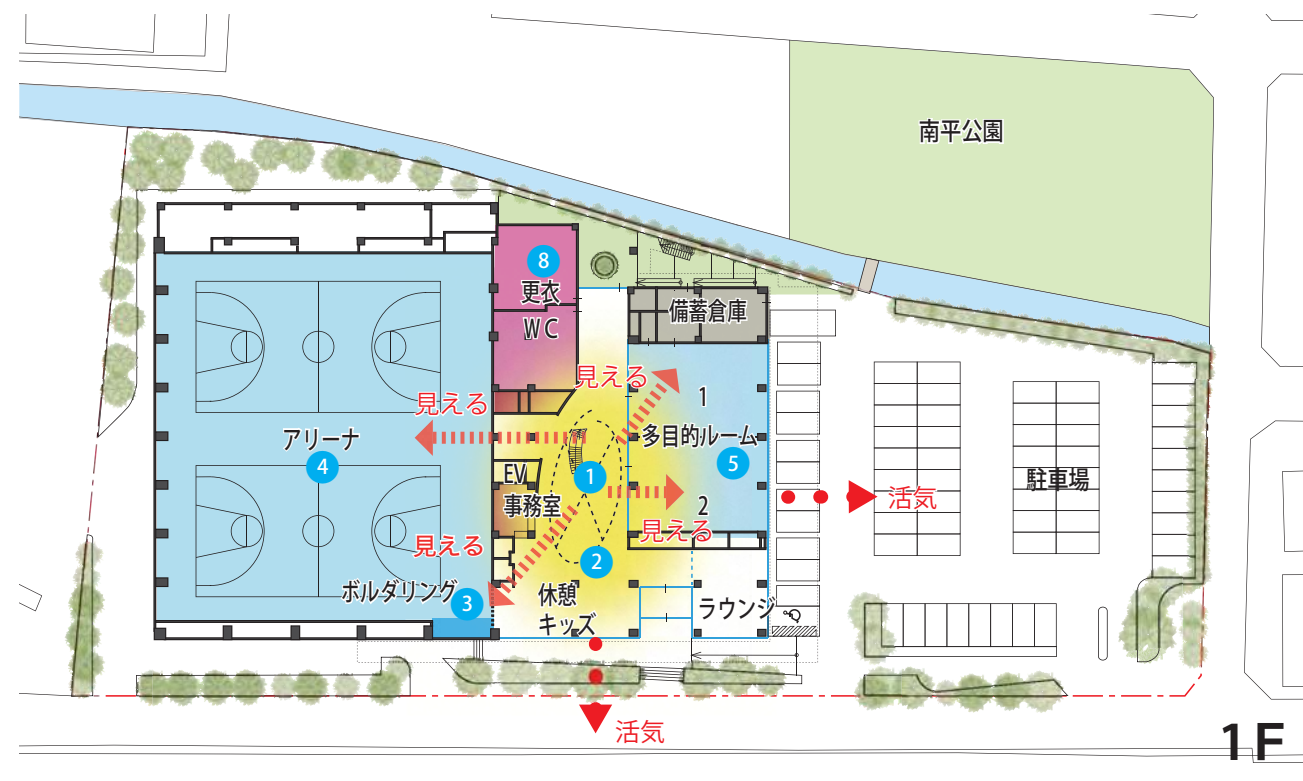
	省エネ項目	イニシャルコスト	ランニングコスト削減(年)	回収年数	CO2削減量	採用の可否	採用理由	備考
負荷の抑制	機材冷庫庫内断熱	—	—	—	—	○	居住域空調による空調負荷の削減	
	変圧器損失低減	—	—	—	4,150 kg-CO2/年	○	省資源	1φ75kVA×3台、3φ200kVA×1台と想定
	自然採光	—	—	—	—	○	自然エネルギーの有効活用	
自然エネルギー	自然換気	—	—	—	—	○	自然エネルギーの有効活用	ラウンジ吹抜け
	太陽光発電	10kW ¥12,000,000 30kW ¥30,000,000 100kW ¥93,000,000 130kW ¥120,000,000	¥-184,600 ¥-553,767 ¥-1,846,000 ¥-2,400,000	32.5年 27.1年 25.1年以上 25.0年以上	5,776 kg-CO2/年 17,328 kg-CO2/年 57,782 kg-CO2/年 75,090 kg-CO2/年	×	自然エネルギーの有効活用	補助金が見込めるため、回収年数で10kWより有利かつより多くの電源供給が可能な30kWを推奨。太陽光発電は、CO2排出削減に大きく寄与し、モニター設置による環境学習・PRの観点から採用が望ましい。
	蓄電池(耐用年数10年)	22.4kWh ¥10,500,000 ¥5,250,000(※)	¥-206,000	26.7年	3,614 kg-CO2/年	○	自然エネルギーの有効活用	発電エネルギーの有効活用。災害時の対応を考慮し、導入を推奨します。
	クールヒートチューブ	¥5,500,000	—	—	—	○	自然エネルギーの有効活用	CO2排出量抑制に大きく寄与
	高効率空調設備	—	—	—	—	○	1次エネルギー消費量の低減	
	排気熱回収(全熱交換機)	—	—	—	—	○	自然エネルギーの有効活用	
	節電機能付洗浄機	—	—	—	—	○	省資源(水資源の節約)	
エネルギーの効率的利用	ガス冷暖	—	—	—	—	×	災害時の復旧速度を重視し不採用。	
	LED照明	—	—	—	15,600 kg-CO2/年	○	省資源	※アリーナのみ検討。LEDにより20%削減と想定。
	雨水利用	¥12,086,000	¥-206,000	58.6年	660 kg-CO2/年	○	省資源(水資源の節約)	
水資源の有効活用	井戸水利用	¥8,730,000	¥-250,000	約35年	720 kg-CO2/年	○	省資源(水資源の節約)	
	各種節水システム	—	—	—	—	○	省資源(水資源の節約)	
	節水型トイレ	—	—	—	—	○	省資源(水資源の節約)	
最適運用	自動水栓	—	—	—	—	○	省資源(水資源の節約)	
	人感センサー	—	—	—	150 kg-CO2/年	○	省資源	トイレを想定
	昼光センサー	—	—	—	500 kg-CO2/年	○	省資源	カフェ、ラウンジ、ホールを想定
	タイマー制御	—	—	—	—	○	省資源	

凡例 ※：東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事業(東京都環境局)による補助金

スポーツと健康

WSで出た主な意見

- ・ランニングコースの整備
- ・トレーニングルームの充実
- ・ボルダリングウォールの設置
- ・トレーニングルームの2階配置
- ・健康サイン・プログラム
- ・内部と外部で視線が通る空間
- ・スポーツが見える空間
- etc.
- ・十分な競技スペース
- ・ヨガ、ダンスができるスペース
- ・パブリックビューイング



“すべての人が使いやすい施設”

多様な人々と競技に対応可能な“市民アリーナ”

④ アリーナ 「様々な競技に対応」

様々な競技を想定した十分な大きさと天井高さを確保。微風の空調方式を採用することで、風が競技に与える影響を抑えます。



⑤ 多目的ルーム 「フレキシブルな利用」

ダンス、ヨガ、卓球など、様々な用途を想定しています。多目的ルーム1、2間の可動間仕切りを開放すれば、ダンス大会など大人数での利用も可能です。



⑥ トレーニングルーム 「気持ちよく利用できる環境」

2階の南側大きな開口からは、緑豊かな多摩丘陵が望め、リラックスして雰囲気の中でトレーニングができる環境です。



⑦ 施設全体 「健康サイン」

施設の随所に健康意欲を高めるサインを設置します。スポーツにおける毎日の目標設定や、日々の健康意識を高める表示・展示を行います。



“つながりの場”

光溢れる吹抜け空間で活気ある“出会いの場”をつくります

① 円形吹抜け 「施設全体を繋ぐ一体空間」

施設の中央に設けた吹抜けが利用者の視線、動線、活気を繋ぎます。施設全体が見渡せるようにすることで「新たな人・コト・スポーツの出会いの場」となります。



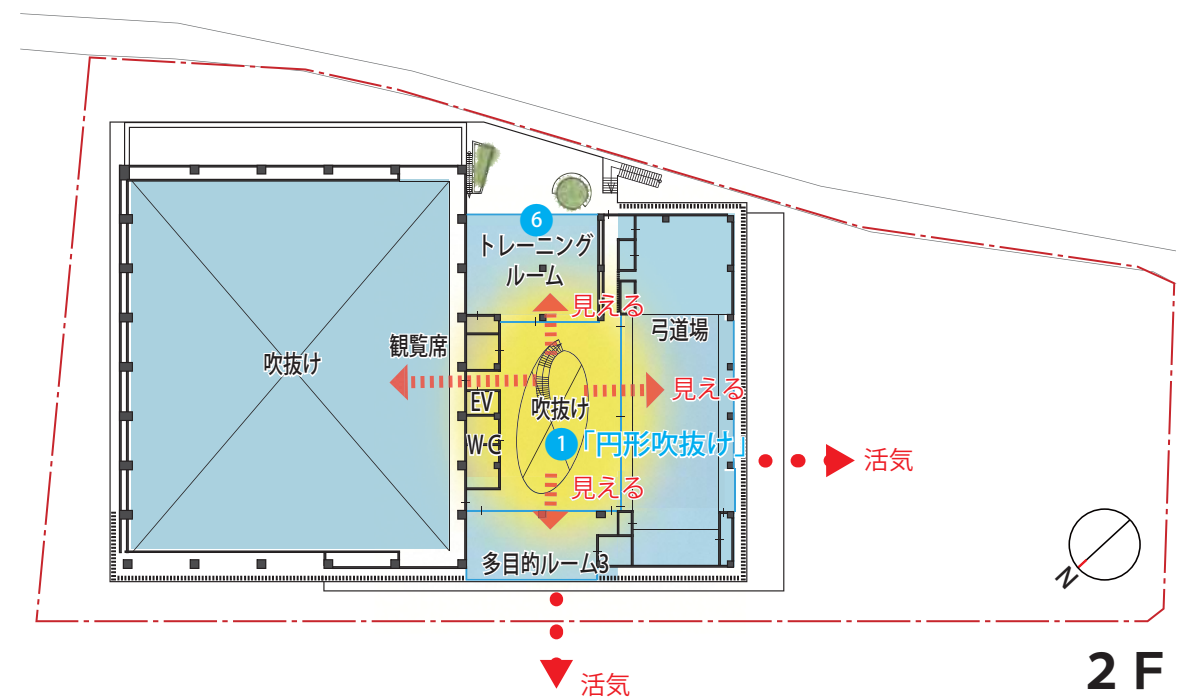
② ラウンジ 「新たなスポーツのきっかけの場」

ラウンジからは、ガラスの開口・木ルーバーを介して、多目的ルーム、アリーナの活動が見え、「新たなスポーツに触れるきっかけの場」となります。



③ アリーナ 「ボルダリング」

アリーナの一角に設けるボルダリングウォールは、スポーツ仕様とすることで子供から大人まで、みんなで一緒に楽しめる場となります。



“すべての人が使いやすい施設”

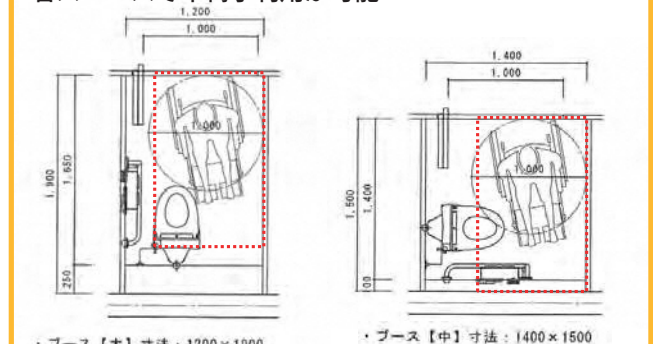
駐車場から各諸室まで、段差のない“バリアフリー”を徹底します

⑧ 便所・更衣室 「車椅子対応」

多目的便所の設置に加え、1階一般便所・ロッカー・シャワーも車椅子で利用できる仕様とします。



省スペースで車椅子利用が可能



交流

WSで出た主な意見

- ・キッズスペースの設置
- ・談話（交流）スペース
- ・弓道場の有効活用
- ・飲食ができるスペース
- ・ほっとする場所
- ・ギャラリーの設置
- ・朝市、夕市の開催
- ・歩道状の空地の設置
- ・屋上利用
- ・各種イベント対応
- etc.

“すべての人が使いやすい施設”
“目が行き届く安心”の施設とします

① 事務室
「管理者の目が行き届く安心の施設」

事務室を中央に配置し、**死角が極力少ない空間構成**とします。
見通しのきく明快な空間構成は、**利用者が目的の部屋まで迷わない、使いやすい施設**となります。

“フラットと立ち寄れる施設”

“地域住民のふれあいの場”で親しみある地域の寄合場をつくります

② 休憩・キッズスペース
「地域住民のふれあいの場」

フラットと立ち寄れる入口付近に設けるブックカフェ、キッズ、集会室が「**街への顔**」を作ります。スポーツから文化まで幅広い活動を促す「**地域住民の交流スペース**」です。



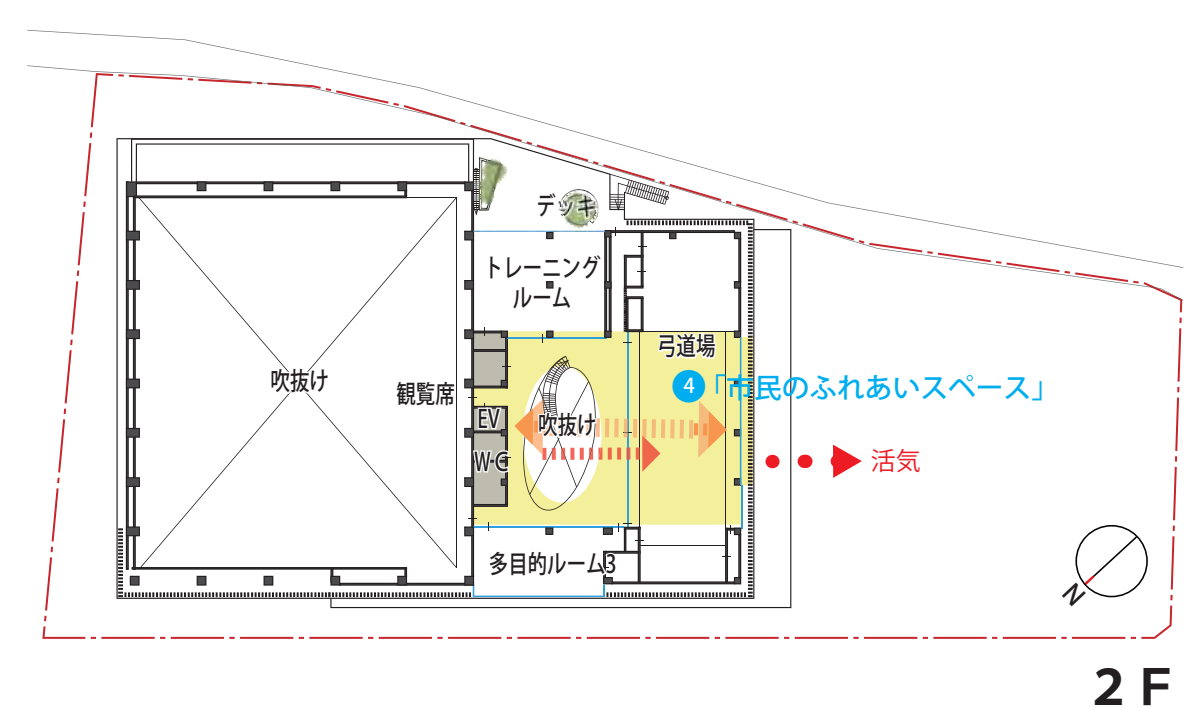
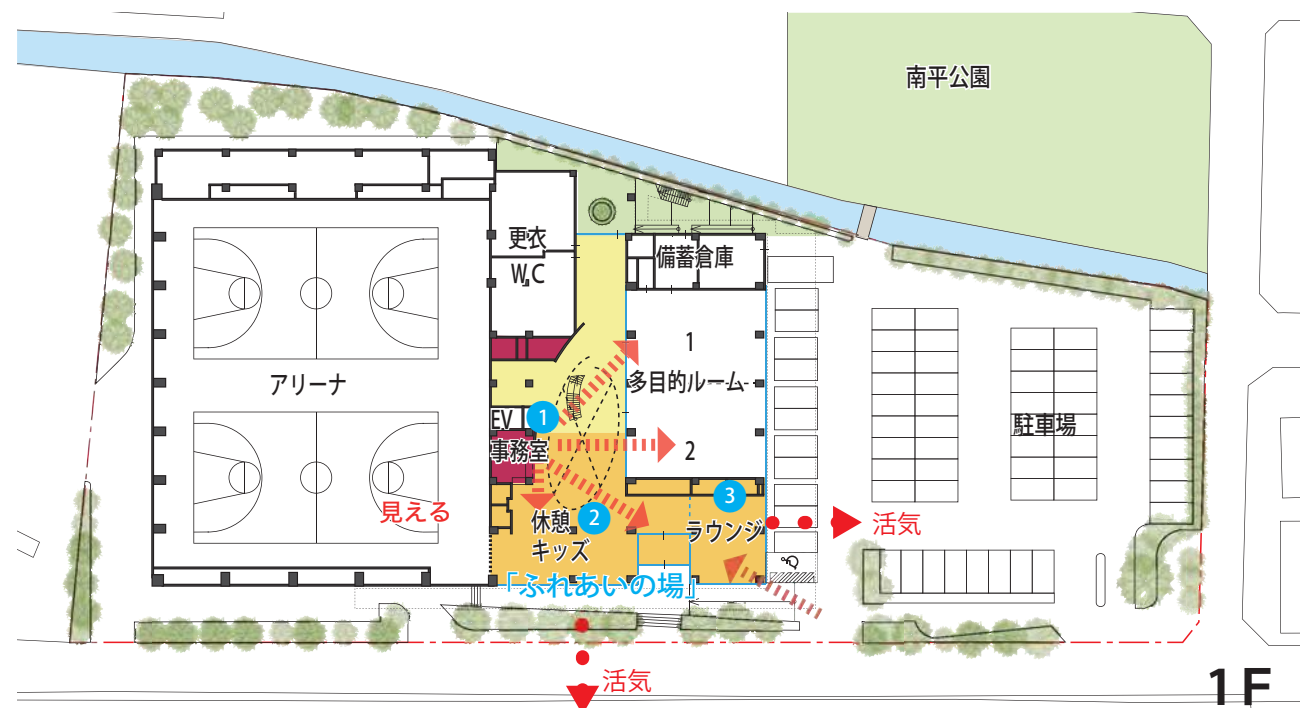
③ ラウンジ
「地域ギャラリー・集会室」

ラウンジの壁面は「**地域住民の活動の発表の場**」となるギャラリー空間です。
併設するキッチンにより「**地域の集会所**」としての利用の幅が広がります。



④ 弓道場
「市民ふれあいスペース」

弓道場の矢道は、**市民のふれあいスペース**として活用を検討します。



イベント時の活用例

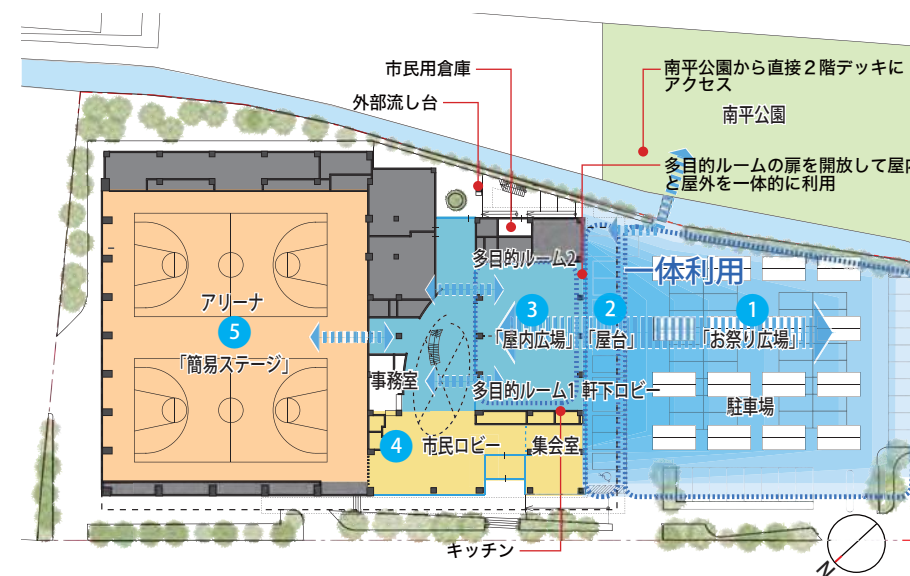
① 駐車場「お祭り広場」

植栽等の障害物がない広大なオープンスペースは、**自由なレイアウト**でテント張りが可能です。正形に近い形状で、「盆踊り」「市民フェア」「産業まつり」にも十分対応可能です。



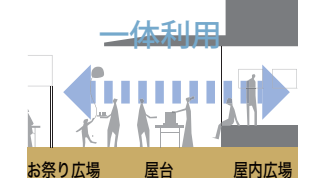
② 軒下ロビー「屋台スペース」

大きな庇により守られた半屋外空間は、「お祭り広場」と「屋内広場」を繋ぐ「おもてなしスペース」として屋台が設置できます。



③ 多目的ルーム1「屋内広場」

西側の開口を大きく開放することで、「**お祭り広場**」「**屋台スペース**」と**一体**の催しスペースとなります。アクセスの良さから「パネル展示」「売店ブース」として活用できます。



④ 市民ロビー「展示ギャラリー」

西側の開口を大きく開放することで、「**お祭り広場**」「**屋台スペース**」と**一体**の催しスペースとなります。アクセスの良さから「パネル展示」「売店ブース」として活用できます。



⑤ アリーナ「簡易ステージ」

器具庫に収納されたロールマットを敷くことで、簡易ステージの設置が可能です。ダンスや音楽の活動発表の場として活用できます。



